



スポーツサイクル車専用ラック

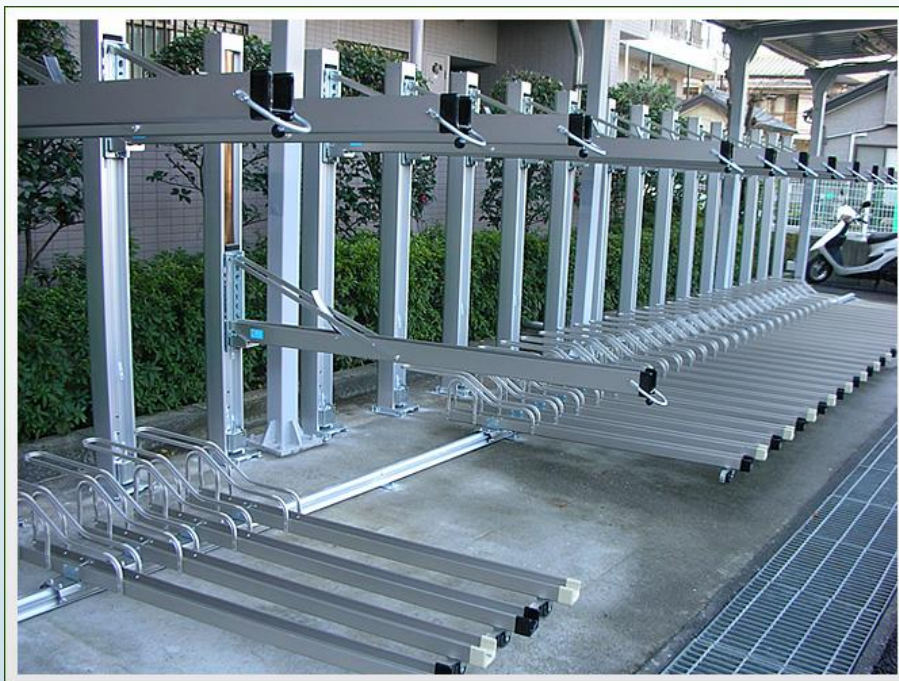
いま！ ママチャリとの差別を図ったスポーツ車専用のサイクルラックのニーズが高まっています。

なぜ、専用ラックが必要なのか？

ロードバイク・クロスバイクと称されるスポーツサイクル車は非常に軽量で実用車(ママチャリ)の1/3程度の重量なのです。軽快に走行できてしまうスポーツ車は10~20キロメートル程度の通勤や通学を軽くこなしてしまう走行性能に優れた自転車なのですが、軽量化を目指すことで犠牲にしている部分も多く見受けられます。

例えば、泥除けがない・籠や荷台が付いてない・鍵は別に用意しなければならない等が挙げられますが、中でも一番の弱点は、自立スタンドがないことでしょう。 これらを踏まえてスポーツサイクル車所有者からの目線で、現行型駐輪場の欠点とこれからの駐輪場に求められる課題に付いて書いてみました。

实用車(ママチャリ)よりタイヤの幅が細く従来型の駐輪機では傾いてしまっていて、ホイールが曲がりそうでイヤ！



隣の自転車と接触したくない！
大事にしている自転車なので傷つけない。



ママチャリとは別物だ。という価値観の違い

すべては、「自分のロードバイク・クロスバイクはママチャリとは別物なんだ！」という価値観の違いから生じる問題かもしれません。

事実、車両価格で見ると電動サイクル車よりも安価なスポーツサイクル車も多く存在しますが、所有者の意識はそれとは別物のようです。

(財)自転車産業振興協会発表の国内車種別販売台数の資料によりますと2005年から2010年までの5年間をみても電動アシスト車の1.7倍を圧倒的に凌ぎ3.8倍に成長しております。今後、東京オリンピックの影響も受けて更に成長する車種だと思えます。また、都市景観問題も高まり、自転車活用を推進する街づくりにも対応して行かねばならないと考えます。

スポーツサイクル車専用ラック modoru-standを導入すること でのメリット

オールステンレス製のmodoru-standは錆びないのでメンテナンスも容易です。
また、無機質なイメージを持つステンレスは清潔感と高級感を更には現代感を演出し
駐輪場や街の景観をクールに解決します。

弊社が開発した特許取得済みmodoru-stand は自転車を縦にすることで保管します。
これにより、横置きよりも約1メートルの有効スペースを確保することが出来ます。
さらには、泥除けや籠を装備した25キロもあるママチャリにはマネできない保管方法
なので、スポーツサイクル車所有者の満足度も高まるかと思えます。

駐輪場・マンション・公共施設・会社・学校等 に設置して頂くことにより、
話題性を呼びお客様のセールスポイントやアピール材料の一つになるかと存じます。

modoru-stand

ハンドルの方向に倒れようとする特性を利用した逆転の発想で前輪を固定する新しいアイデアのスタンドです。

軽量なスポーツ車なので簡単に前輪を持ちあげながら後輪を軽く押し込むだけのワンアクションでセット完了できる世界に類を見ない画期的なスタンドです。

※写真は個人様・ショップ用につき、後輪用の脚を有しますが、駐輪場設置の場合はアンカーボルトによる固定またはコンクリートに埋め込みで対応いたしますのでさらにスッキリした印象になります。



modoru kikaku (モドルキカク)

住所 : 664-0013 兵庫県伊丹市瑞穂町2丁目30-2

☎ : 072-777-7741 📠 : 090-3350-4278

✉ : info@modoru.jp

Web: www.modoru.jp